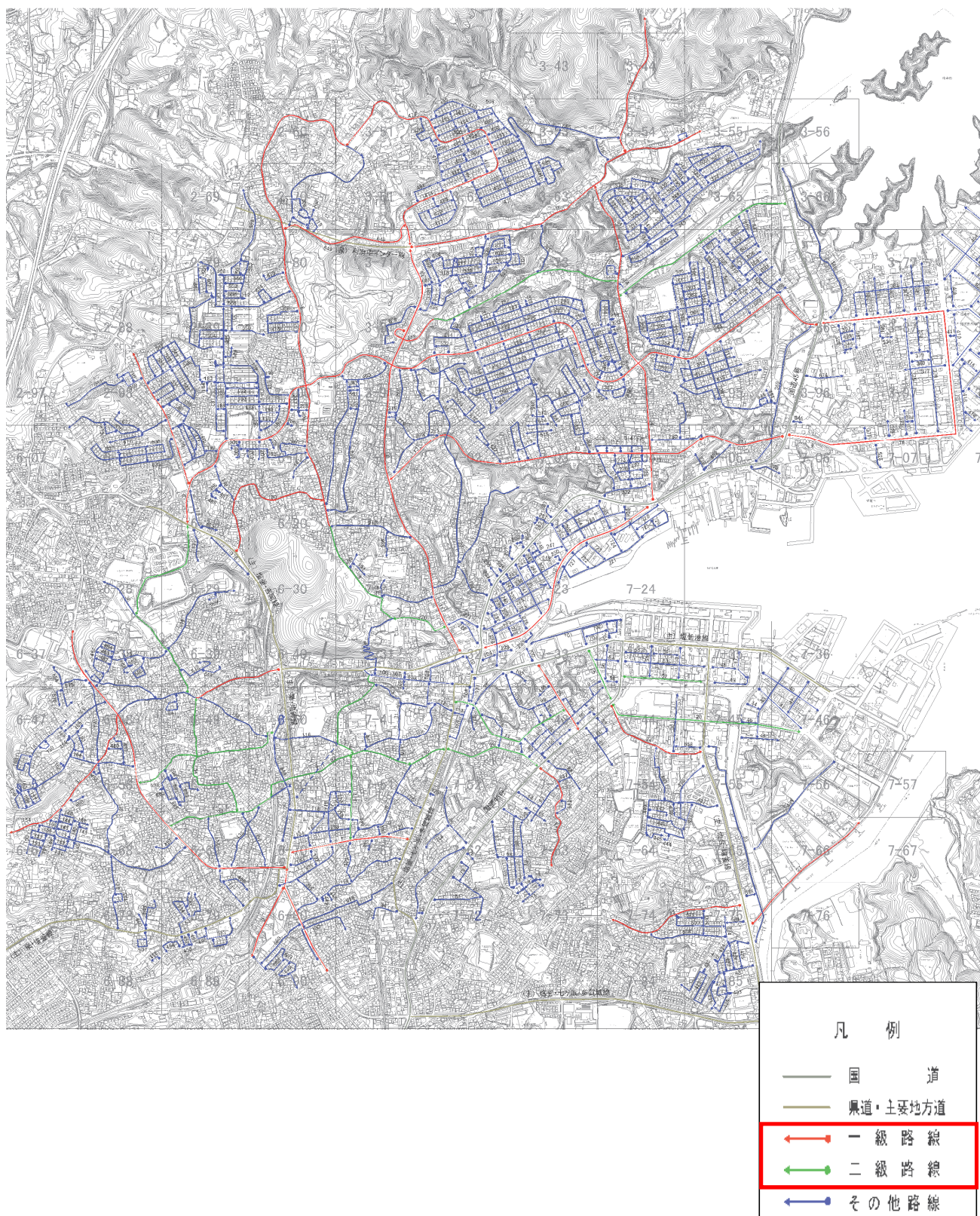


令 7 - 単 路面性状調査及び舗装長寿命化修繕計画策定業務委託

位 置 図



令7―単 路面性状調査及び
舗装長寿命化修繕計画策定業務委託

特記仕様書

塩 竈 市

目 次

第1章 総則	4
第1条 適用	4
第2条 目的	4
第3条 関係法令及び条例の遵守	4
第4条 疑義	4
第5条 提出書類	4
第6条 貸与資料	5
第7条 業務実績	5
第8条 技術者の選任	5
第9条 品質管理等	6
第10条 守秘義務	6
第11条 交通安全管理	6
第12条 成果品の瑕疵	6
第13条 契約不適合責任	6
第14条 契約不適合責任期間等	6
第15条 損害賠償	7
第16条 打合せ	7
第17条 検査	7
第18条 成果品等の帰属	7
第19条 履行期間	7
第2章 路面性状調査	8
第20条 計画準備	8
第21条 調査内容	8
第22条 現地踏査及びマーキング	8
第23条 路面性状測定	8
第24条 測定時間	8
第25条 ひび割れ測定	8
第26条 わだち掘れ測定	8
第27条 縦断凹凸量(IRI)測定	8
第28条 データ作成等	8
第29条 点検	9
第30条 ひび割れ解析	9
第31条 わだち掘れ解析	9
第32条 縦断凹凸量(IRI)解析	9
第33条 データ作成	10
第34条 小口径ボーリング調査	10
第35条 調査結果帳票作成	10
第36条 報告書作成	10
第37条 GISデータの作成	10
第3章 舗装長寿命化修繕計画策定	11
第38条 舗装の現状把握	11

第39条 舗装維持管理の基本方針検討	11
第40条 対策の優先順位設定	11
第41条 短期修繕計画の策定	11
第42条 報告書作成	11
第4章 成果品	12
第43条 成果品項目	12

令7一単 路面性状調査及び舗装長寿命化修繕計画策定業務委託

特記仕様書

第1章 総則

第1条 適用

- 1 本特記仕様書は、塩竈市（以下、「発注者」とする）が発注する「令7一単 路面性状調査及び舗装長寿命化修繕計画策定業務委託」（以下、「本業務」という。）に適用するものとする。

第2条 目的

- 1 発注者が管理する舗装道路について、路面性状（ひび割れ率）を測定し、舗装路面の破損状態を客観的な指標で評価するとともに、長寿命化修繕計画を策定することにより、今後の舗装維持管理業務の適正化及び効率化、並びに市民サービス向上を図ることを目的とする。

第3条 関係法令及び条例の遵守

- 1 受注者は、業務の実施にあたり、本特記仕様書に定める他、関連する関係諸法規及び条例等を遵守しなければならない。
 - (1) 測量法（改正：令和4年法律第68号）
 - (2) 測量法施行令（改正：令和元年政令第183号）
 - (3) 測量法施行規則（改正：令和4年国土交通省令第7号）
 - (4) 道路法（改正：令和4年法律第68号）
 - (5) 道路法施行令（改正：令和4年政令第378号）
 - (6) 道路法施行規則（改正：令和7年国土交通省令第11号）
 - (7) 道路の修繕に関する法律
 - (8) 道路の修繕に関する法律の施行に関する政令（改正：令和3年政令第261号）
 - (9) 道路の修繕に関する法律施行規則（改正：令和2年国土交通省令第19号）
 - (10) 道路交通法（改正：令和4年法律第32号）
 - (11) 道路交通法施行令（改正：令和7年政令第54号）
 - (12) 道路交通法施行規則（改正：令和7年内閣府令第17号）
 - (13) 地方交付税法（改正：令和7年法律第2号）
 - (14) 舗装点検要領（平成28年10月 国土交通省道路局）
 - (15) 総点検実施要領（案）【舗装編】及び同参考資料（平成25年 国土交通省道路局）
 - (16) 舗装調査・試験法便覧（平成31年版 公益社団法人日本道路協会）
 - (17) 塩竈市諸規則
 - (18) その他の関係法令並びに諸規則等

第4条 疑義

- 1 業務実施にあたり、本特記仕様書及び設計図書等に明示なき事項、又は疑義を生じた場合には監督員と協議によりこれを定めるものとする。

第5条 提出書類

- 1 本業務の着手に先立ち、下記の関係書類を発注者に提出し、承認を得るものとする。また、業務実施計画等を変更する場合も同様とする。

- (1) 業務実施計画書
- (2) 業務工程表
- (3) 着手届
- (4) 技術者届及び経歴書

第6条 貸与資料

- 1 本業務実施にあたり、以下の資料を貸与する。
- 2 貸与資料については、受注者は種類及び数量・借用期間等を明確にした上で書面により借用書を提出しなければならない。
- 3 貸与資料については、受注者は万全の注意を払い管理するとともに、業務終了後速やかに発注者へ返還しなければならない。
- 4 受注者が貸与資料を、紛失、汚損、破損若しくは消失等した場合、新たに資料を作成する等現状に回復し返還しなければならない。その場合において要する費用については、受注者の負担とする。

- | | |
|------------------|----|
| (1) 塩竈市道路台帳図 | 1式 |
| (2) 塩竈市道路台帳区間調書 | 1式 |
| (3) 塩竈市路線網図 | 1式 |
| (4) 過年度路面性状調査成果品 | 1式 |
| (5) その他発注者が認めた資料 | 1式 |

第7条 業務実績

- 1 受注者は、本業務を実施するに当たり、平成27年度以降に国または地方公共団体から元請けとして受注した「路面性状調査及び舗装長寿命化修繕計画策定」の実績を有する者。

第8条 技術者の選任

- 1 受注者は、本業務の実施にあたり、業務の円滑な進捗を図るため、経験豊富な技術者を管理技術者として配置し業務を遂行させるとともに、成果品の品質を確保するため、照査技術者を選任し業務全般にわたって技術管理を行う。
- 2 管理技術者及び照査技術者は、以下の条件を満たす技術者を配置しなければならない。
 - (1) 管理技術者
 - ①技術士：総合技術監理部門(建設一道路)又は建設部門(道路)、もしくはシビルコンサルティングマネージャ(RCCM):道路部門の資格を有する者
 - ②平成27年度以降に国または地方公共団体から元請けとして受注した、「AIを用いたひび割れ判読を含む路面性状調査及び舗装長寿命化修繕計画策定」に関する業務に配置技術者として携わった実績を有していること。
 - (2) 照査技術者
 - ①空間情報総括監理技術者の資格を有するほか、技術士：総合技術監理部門(建設一道路)又は建設部門(道路)、もしくはシビルコンサルティングマネージャ(RCCM):道路部門の資格を有する者
 - ②平成27年度以降に国または地方公共団体から元請けとして受注した、「AIを用いたひび割れ判読を含む路面性状調査及び舗装長寿命化修繕計画策定」に関する業務に配置技術者として携わった実績を有していること。

第9条 品質管理等

- 1 受注者は、ISO9001（品質マネジメントシステム）、ISO14001（環境マネジメントシステム）について契約時まで取得するものとし、品質管理の向上と環境負荷の低減、適切な資産管理に努めるものとする。
- 2 受注者は、前項に掲げた資格証の写しを提出するものとする。

第10条 守秘義務

- 1 受注者は、本業務を通じて知り得た事項について、その一切を他の第三者に漏らしてはならない。
- 2 個人情報保護と情報セキュリティの観点から、個人情報並びに全般的な情報セキュリティに関する適切な保護措置を講ずるものとする。
- 3 受注者は、前項に掲げた資格証の写しを提出するものとする。

第11条 交通安全管理

- 1 本調査の履行にあたっては交通状況を十分に把握し、調査員の人身事故はもとより第三者に危害を及ぼさないように万全の措置を講じなければならない。本調査に起因して第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任において措置するものとする。

第12条 成果品の瑕疵

- 1 業務完了後、受注者の過失、または疎漏に起因する不良箇所等が発見された場合には、発注者が必要と認める修正・補正・その他必要な処置を受注者の負担で行うものとする。

第13条 契約不適合責任

- 1 発注者は、受注者より引渡された成果物が内容、品質、種類、及び仕様に関して仕様書と合致しないもののうち、第2条の目的に照らして発注者の業務に重大な影響を及ぼすもの（以下「契約不適合」という。）であるときは、受注者に対し、成果物の修補、良品の再納入、又は第2条の目的に合致する代替品の納入の方法による履行の追完を請求することができる。
- 2 上記の場合において、発注者が相当の期間を定めて履行の追完の催告をし、その期間内に履行の追完がないときには、発注者は、その契約不適合の程度に応じて代金の減額を請求することができる。履行の追完又は代金の減額をもってしても、なお発注者に損害が発生したときは、報酬を上限とした範囲内において当該損害の賠償を受注者に対して請求することができる。
- 3 発注者は、受注者が上記に従っての履行を追完することができず、また報酬の減額では第2条に記載の規約の目的が達成できないものであるときは、受注者への書面による通知により契約を解除することができる。

第14条 契約不適合責任期間等

- 1 発注者は、引き渡された成果物に関し、成果物の引渡しの日から1年以内でなければ、前条に基づく契約不適合を理由とした履行の追完の請求、損害賠償の請求、代金の減額の請求又は契約の解除（以下この条において「請求等」という。）をすることができない。
- 2 上記の請求等は、具体的な契約不適合の内容、請求する損害額の算定の根拠等当該請求等の根拠を示して、受注者の契約不適合責任を問う意思を明確に告げることで行う。
- 3 発注者は、上記に規定する契約不適合に係る請求等が可能な期間（以下「契約不適合責任期

間」という。)の内に契約不適合を知り得た場合には、本項の規定にかかわらず、直ちにその内容及び事実を受注者に対して通知しなければならず、当該通知を怠った場合には、当該契約不適合に関する請求等を行うことができない。ただし、受注者がその契約不適合があることを知っていたときは、この限りでない。

- 4 発注者が契約不適合責任期間内において上記の通知をした場合において、発注者が通知から6か月が経過する日までに前項に規定する方法による請求等をしたときは、契約不適合責任期間の内に請求等をしたものとみなす。
- 5 引き渡された成果物の契約不適合が本特記仕様書の記載内容、発注者の指示又は貸与品等の性状により生じたものであるとき又は受注者に責の無い自然災害や社会情勢・技術基準の変化により生じたものであるときは、発注者は当該契約不適合を理由として、請求等を行うことができない。ただし、受注者がその記載内容、指示又は貸与品等が不適當であることを知りながらこれを通知しなかったときは、この限りでない。

第15条 損害賠償

- 1 本業務の履行期間内に、受注者の責により生じた事故等により第三者に損害が発生した場合、受注者は、当該損害を賠償する。

第16条 打合せ

- 1 受注者は、業務の円滑な遂行を図るため、打合せ協議を業務着手、中間時、完了時に行うものとし、業務着手時及び完了時の打合せには管理技術者が立ち会うものとする。

第17条 検査

- 1 受注者は、業務完了後、所定の手続きを経て発注者の検査を受けるものとする。本業務は、発注者の検査合格をもって完了とする。

第18条 成果品等の帰属

- 1 本業務において使用、又は作成した成果品等についての著作権は、すべて発注者に帰属するものとし、受注者は発注者の許可なく使用、複製及び他の第三者に貸与してはならないものとする。

第19条 履行期間

- 1 履行期間は契約日の翌日から令和8年3月19日までとする。

第2章 路面性状調査

第20条 計画準備

- 1 受注者は本調査に先立ち、全般的な作業計画の策定及び必要な最新の管内図、路線図資料等を収集し、路線延長、起終点距離位置、目標となる構造物・交差点距離位置、重用路線番号・距離位置などの整理を行うものとする。

第21条 調査内容

- 1 本業務の調査延長は、塩竈市内にある舗装された市道において、延長42.47kmを想定している。
- 2 調査手法については、点検支援技術性能カタログ（舗装・道路巡視）「令和7年4月時点、国土交通省」に掲載されている技術とする。

第22条 現地踏査及びマーキング

- 1 路面性状測定車による作業に先立ち現地踏査を実施し、調査区間の起終点、著名な構造物（橋梁、高架橋、トンネル）等の起終点が、撮影した記録媒体から確認できるように路面にマーキングを施すものとする。

第23条 路面性状測定

- 1 測定に使用する路面性状測定車（路面性状自動測定装置）は、一般財団法人土木研究センターの実施した令和2年度路面性状自動測定装置の性能確認試験に合格した路面性状測定車とし、ひび割れ、わだち掘れ、平坦性が同時に測定可能なものとする。また、監督員へ性能確認証書の写しを提出するものとする。

第24条 測定時間

- 1 調査車による路面測定作業は、昼間の路面乾燥時とする。

第25条 ひび割れ測定

- 1 ひび割れ測定は、対象車線全線を連続測定するものとし、測定縮尺は、1mm幅のひび割れを確実に解読できる適切な値とする。

第26条 わだち掘れ測定

- 1 わだち掘れ測定は、10mピッチとし、測定縮尺はわだち掘れ量（深さ）を確実に測定できるように適切な値とする。

第27条 縦断凹凸量（IRI）測定

- 1 縦断凹凸の測定は、外側（歩道側）のわだち部を測定するものとする。

第28条 データ作成等

- 1 測定記録を基に速やかに編集・解析処理を行い、品質管理を厳重に行うものとする。なお、路面性状データは、「舗装調査・試験法便覧」を準拠し、編集・解析するものとする。

第29条 点検

- 1 処理後各測定記録の点検を行い、解析に支障がある場合は、再測定を行うものとする。

第30条 ひび割れ解析

- 1 ひび割れ解析は、ひび割れ率、ひび割れ度のそれぞれについて、次式に基づき算出するものとする。

- (1) アスファルト舗装

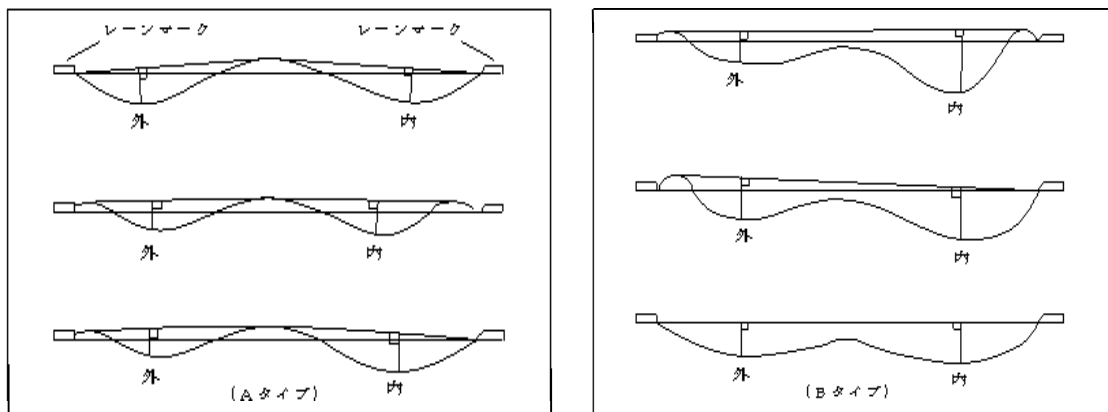
$$\text{ひび割れ率(\%)} = \frac{\text{ひび割れ面積(m}^2\text{)} + \text{パッチング面積(m}^2\text{)}}{\text{調査区間の面積(m}^2\text{)}} \times 100$$

- (2) コンクリート舗装

$$\text{ひび割れ度(cm/m}^2\text{)} = \frac{\text{ひび割れ長さ(cm)} + \text{パッチング面積(m}^2\text{)}/0.3\text{(m)}}{\text{調査区間の面積(m}^2\text{)}} \times 100$$

第31条 わだち掘れ解析

- 1 わだち掘れ解析は、下図のタイプに従い行うものとする。



第32条 縦断凹凸量 (IRI) 解析

- 1 縦断凹凸は、1.5mピッチの縦断凹凸量を基に標準偏差 (σ) を算出する。
- 2 IRIは、算出により得られた標準偏差 (σ) をもとに、以下の換算式を用いてIRIを算出する。
- 3 換算式: $\text{IRI (mm/m)} = 1.33 \sigma \text{ (mm)} + 0.24$

4 供用性の評価

5 供用性の評価は維持管理指数（MCI）を用いるものとし、下記の評価式による。

$$MCI = 10 - 1.48C^{0.3} - 0.29D^{0.7} - 0.47\sigma^{0.2}$$

$$MCI_0 = 10 - 1.51C^{0.3} - 0.30D^{0.7}$$

$$MCI_1 = 10 - 2.23C^{0.3}$$

$$MCI_2 = 10 - 0.54D^{0.7}$$

※ C:ひび割れ率(%）、D:わだち堀れ量(mm)、 σ :平たん性(mm)、MCI:維持管理指数

6 尚、維持管指数（MCI）は上記4式で算出した値のうち最も小さい値を用いるものとする。セメントコンクリート舗装区間の供用性の評価は次式によってひび割れ度をひび割れ率に変換して行うものとする。その他は、アスファルト舗装と同じとする。

$$C=h \cdot Co$$

$$h=1 \quad \dots\dots\dots (Co \leq 5 \text{度})$$

$$h = \frac{Co+25}{30} \quad \dots\dots\dots (5 \text{度} < Co)$$

※ C:ひび割れ率(%）、Co:ひび割れ度(cm/m²)、h:交換係数C=h・Co

第33条 データ作成

- 1 測定記録を基に速やかに編集・解析処理を行い、品質管理を厳重に行うものとする。尚、路面性状データは、「舗装調査・試験法便覧」を準拠し、編集・解析するものとする。
- 2 現地踏査結果に基づき、管理事務所、管理距離、舗装種別、幅員等について道路管理データファイルを作成するものとする。
- 3 評価単位（100m）毎に解説・計算した路面性状値を統合し、路面性状データファイルを作成するものとする。
- 4 路面性状データ、道路管理データについて、各データの数値情報の誤りがないか精査する。また、各データ間で関連する情報の矛盾点の論理チェックを行うものとする。

第34条 小口径ボーリング調査

- 1 小口径ボーリング調査により現況の舗装厚や材料を確認する。調査箇所は、監督員と協議の上、決定する。
- 2 小口径ボーリング調査では、コア削孔箇所にボアホールカメラを挿入・撮影し、路面下の孔壁断面画像により柱状写真を作成する。
- 3 調査後、開口部は碎石やアスファルト混合物等で速やかに閉塞するものとする。

第35条 調査結果帳票作成

- 1 舗装修繕計画策定のため、本調査の結果を基に各種集計表の作成を行う。

第36条 報告書作成

- 1 前条までの内容を報告書として取りまとめることとする。

第37条 GISデータの作成

- 1 作成した各データを塩竈市産業建設部土木課に構築済みであるGISシステムへ搭載するデータ整備を行うものとする。

第3章 舗装長寿命化修繕計画策定

第38条 舗装の現状把握

- 1 受注者は計画策定にあたり、対象路線における路面性状結果及び舗装工事履歴等の既存データを収集整理し、現状把握を行うものとする。

第39条 舗装維持管理の基本方針検討

- 1 市のまちづくり等の方向性に沿うよう、既存資料を用いて基本方針を策定するものとする。
- 2 舗装点検要領に定められている道路の分類について、市内の道路を区分する。なお、分類の方法については道路の役割や性格、管理体制などを考慮し、決定するものとする。
- 3 市内の道路の管理状態や補修予算規模を踏まえ、現状に応じた舗装路面の修繕段階に該当する目標管理水準を検討するものとする。

第40条 対策の優先順位設定

- 1 優先順位の検討は、路面性状調査による路面損傷状況に加え、道路の重要度（緊急輸送路、交通量等）を考慮し、総合的な評価による修繕候補箇所の優先順位づけの方法を検討するものとする。
- 2 過年度の工事实績を踏まえ、舗装維持修繕の概算工事費の算定に必要な補修工法及び工法別単価を設定する。

第41条 短期修繕計画の策定

- 1 対策優先順位の設定の結果と、舗装維持修繕に係る予算規模から、今後5年間程度の舗装維持修繕計画の策定を行うものとする。
- 2 前条までの検討事項も含めた個別施設計画書（公開用含む）を作成するものとする。

第42条 報告書作成

- 1 前条までの内容を報告書として取りまとめることとする。

第4章 成果品

第43条 成果品項目

1 成果品として次のものを提出するものとする。

- | | |
|------------------------------|----|
| (1) 業務報告書 | 2部 |
| (2) 路面性状調査一覧表 | 1式 |
| (3) 診断区分図GISデータ (Shape形式) | 1式 |
| (4) 個別施設計画書 | 1式 |
| (5) 個別施設計画箇所GISデータ (Shape形式) | 1式 |
| (6) 個別施設計画書データ (HP公表用、PDF形式) | 1式 |
| (7) 上記電子データ (CD) | 1式 |

[illegible]

総括表

費目	単位	数量	単価	金額	摘要
測量業務価格					
	式	1			
設計業務価格					
	式	1			
業務価格					
	式	1			
消費税相当額					
	式	1			
業務委託料					
	式	1			

業務委託費内訳書

業務名	令7一単 路面性状調査及び舗装長寿命化修繕計画策定業務委託				業 種 目	測量業務 地形測量	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
地形測量							
		式	1				
測量業務							
		式	1				
直接測量費							
		式	1				
計画準備							内 1号
		式	1				
打合せ協議							内 2号
		式	1				
現地踏査及びマーキング							単 1号
		km	42.47				
路面性状測量 3要素同時測定							単 2号
		km	42.47				
ひび割れ解析 ひび割れ判読							単 3号
		km	42.47				
ひび割れ解析 ひび割れ計算処理							単 4号
		km	42.47				
わだち掘れ解析 測定データ編集							単 5号
		km	42.47				
わだち掘れ解析 わだち掘れ計算処							単 6号
		km	42.47				
縦断凸凹解析 測定データ編集							単 7号
		km	42.47				
縦断凸凹解析 縦断凸凹計算処理							単 8号
		km	42.47				

業務委託費内訳書

業務名	令7一単 路面性状調査及び舗装長寿命化修繕計画策定業務委託				業 種 項 目	測量業務 地形測量	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
データ作成							単 9号
		km	42.47				
データ作成 関連チェック							単 10号
		km	42.47				
調査結果様式作成							単 11号
		km	42.47				
全国道路施設点検DB（舗装）記録様							内 3号
		式	1				
試掘調査 舗装試掘調査							単 12号
		箇所	8				
報告書作成							内 4号
		式	1				
GISデータ作成							単 13号
		km	42.47				
直接測量費							
		式	1				
間接測量費							
		式	1				
諸経費							内 5号
		式	1				
測量業務価格							
		式	1				

業務委託費内訳書

業務名	令7一単 路面性状調査及び舗装長寿命化修繕計画策定業務委託				業 種 項 目	土木設計業務 道路設計	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路設計							
		式	1				
設計業務							
		式	1				
直接人件費							
		式	1				
舗装の現状調査							内 6号
		業務	1				
舗装維持管理の基本方針							内 7号
		業務	1				
対策の優先順位の設定							内 8号
		業務	1				
対策の優先順位の設定							内 9号
		業務	1				
報告書作成							内 10号
		業務	1				
直接原価（その他原価除く）							
		式	1				
その他原価							内 11号
		式	1				
一般管理費等							内 12号
		式	1				
設計業務価格							
		式	1				

1 次内訳書

単価使用年月	2025.09
歩掛適用年月	2025.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	計画準備						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	測量主任技師						
			人				
	測量技師						
			人				
	測量技師補						
			人				
	測量助手						
			人				
	合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2025.09
歩掛適用年月	2025.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	打合せ協議						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	測量主任技師						
			人				
	測量技師						
			人				
	合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2025.09
歩掛適用年月	2025.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 3号	全国道路施設点検DB（舗装）記録様						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	測量技師						
			人				
	測量技師補						
			人				
	処理PC		台日	2.5			
	合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2025.09
歩掛適用年月	2025.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 4号	報告書作成						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	測量主任技師						
			人				
	測量技師						
			人				
	測量技師補						
			人				
	測量助手						
			人				
	パソコン						
			台日	10			
	合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2025.09
歩掛適用年月	2025.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 5号	諸経費						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	直接測量費						
			式	1			
	諸経费率						
			%				
	諸経費						
			式	1			
	調整額						
	合計						

單僱使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 9 -

鹽竈市

單僱使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 10 -

鹽竈市

單僱使用年月	2025.09
步掛適用年月	2025.09
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

- 11 -

鹽竈市

單僱使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 12 -

鹽竈市

1 次内訳書

単価使用年月	2025.09
歩掛適用年月	2025.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 10号	報告書作成						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	主任技師						
			人				
	技師(A)						
			人				
	技師(B)						
			人				
	技師(C)						
			人				
	合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2025.09
歩掛適用年月	2025.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 11号	その他原価						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	直接人件費（設計業務）						
			式	1			
	$\alpha / (1 - \alpha)$						
			%				
	その他原価						
			式	1			
	合計						

單僱使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 15 - 鹽竈市

單價使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 16 - 鹽竈市

1 次単価表

						単価使用年月	2025.09	
						歩掛適用年月	2025.09	
						労務調整係数	1.000-00000	0.0 0
単 2号	路面性状測量 3要素同時測定		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量技師								
			人					
測量技師補								
			人					
測量助手								
			人					
SSD 128Gb								
			本	2.2				
軽油								
			L	50				
路面性状測定装置								
			台日	2.5				
合計								
単価								

1 次単価表

						単価使用年月	2025.09	
						歩掛適用年月	2025.09	
						労務調整係数	1.000-00000	0.0 0
単 3号	ひび割れ解析 ひび割れ判読		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量技師								
			人					
測量技師補								
			人					
測量助手								
			人					
処理PC								
			台日	4				
画像判読装置								
			台日	4				
AI処理ソフト・装置								
			台日	1				
合計								
単価								

單僱使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

– 19 –

鹽竈市

單僱使用年月	2025.09
步掛適用年月	2025.09
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

– 20 –

鹽竈市

單僱使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 21 -

鹽竈市

單僱使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 22 -

鹽竈市

單僱使用年月	2025.09
步掛適用年月	2025.09
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

[illegible]

單價使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

[illegible]

單僱使用年月	2025.09
步掛適用年月	2025.09
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

- 25 -

鹽竈市

單價使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 26 -

鹽竈市

單僱使用年月	2025. 09
步掛適用年月	2025. 09
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 27 - 鹽竈市

單僱使用年月	2025.09
步掛適用年月	2025.09
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

- 28 - 鹽竈市